

# 平成30年度 学校版環境ISOへの取組 概要報告

甲佐町立甲佐中学校

## 1. 甲佐中学校版環境ISO宣言

甲佐中では、平成16年度から学校版環境ISOの取組を始め、今年で15年目になります。今年も昨年同様、ISOに対する意識を高め、「できることからはじめよう」をモットーに、「節電」「節水」「ゴミの減量化」の3つに取り組んできました。

組織としては、生徒会専門委員会である環境美化委員会をISO推進委員会として位置づけ、平成30年度の宣言項目を次のように決めました。

### 1 私たちは**節電**をします。

- ・移動教室のときや放課後は教室や廊下の電気を消す。

### 2 私たちは**節水**をします。

- ・雑巾はバケツで洗う。
- ・歯みがきのときに水を止める。

### 3 私たちは**ゴミの減量化**をします。

- ・紙類のゴミを出さないようにする。



生徒集会で環境美化委員長が宣言項目を発表しました。

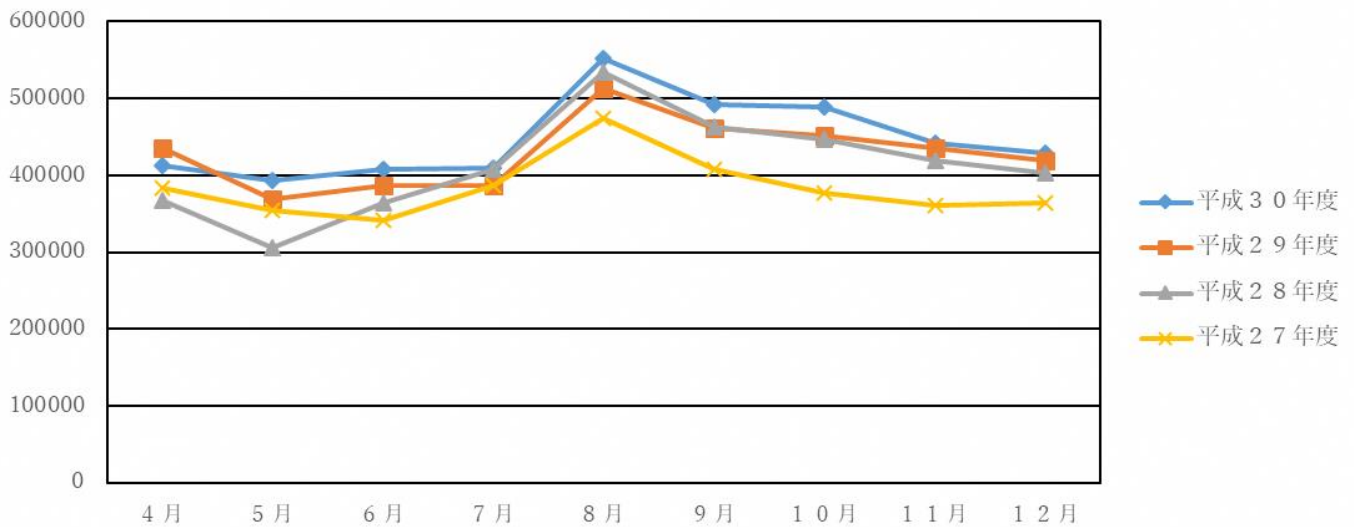
これまでと同様に、各宣言項目において重点事項を設定して取り組みました。これらの宣言項目と重点事項は、スイッチや水道、ゴミ箱にもそれぞれ掲示し、日頃から意識が高まるようにしました。

## 2. 行動の内容及び記録

### (1) 「節電」の取組

節電については、「移動教室の時や放課後に教室や廊下の電気を消す。」を重点事項としました。これまで以上にさらに生徒一人一人の意識を高め、お互いに声を掛け合えることを目指しました。また重点事項に加え、エアコンの設定温度や使用頻度など、使用料を抑えることを生徒一人一人が心がけ、学校全体で取り組んでいます。

## 電気料金推移

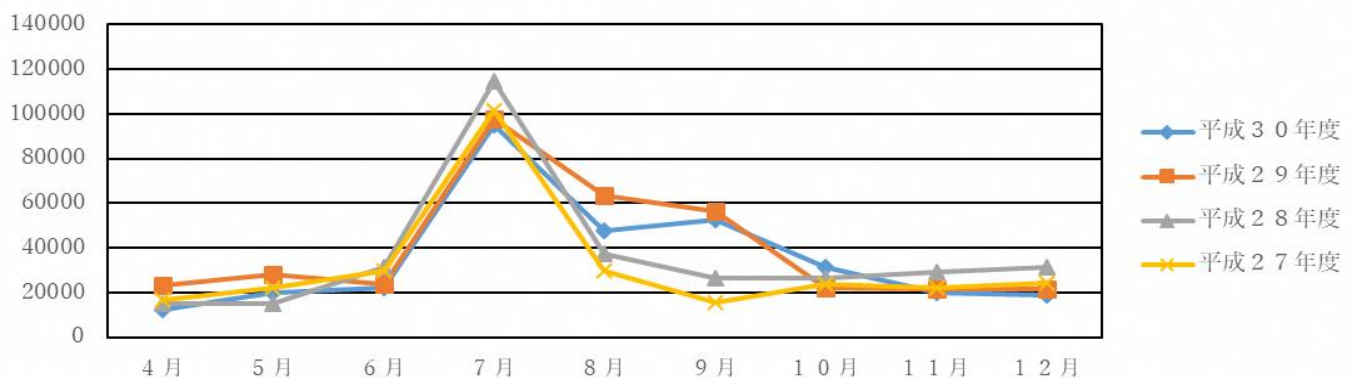


### (2) 「節水」の取組

節水については、「雑巾はバケツで洗う。歯みがきのときに水を止める。」を重点事項としました。清掃時や給食後の歯みがきで余分な水を出さないようにし、水の使用量の減少を目指して取り組みました。歯みがきでのコップの使用は、一昨年から継続して実践することができました。さらに、課題であったバケツの使用についても、環境美化委員会で重点的に呼びかけを行いました。今後もさらに水を大切にする意識を高めていきたいと思ひます。



## 水道料金推移

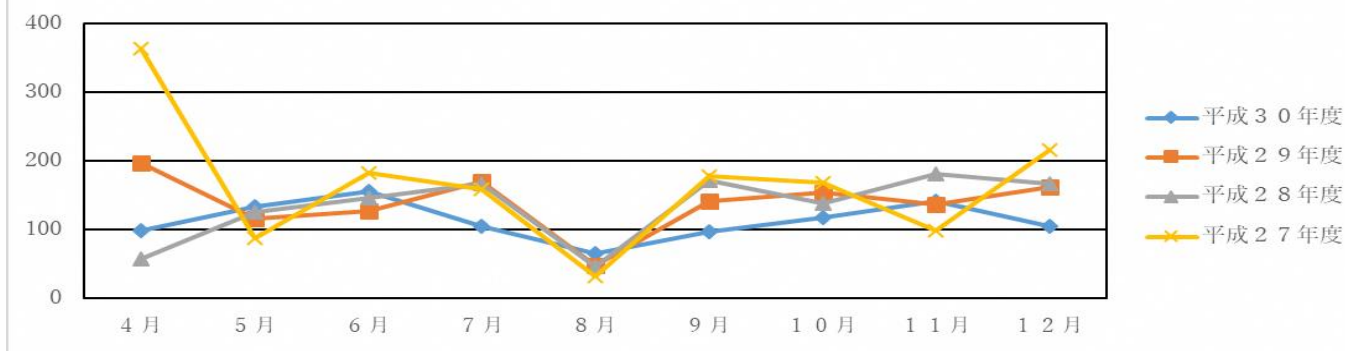


### (3) 「ゴミ減量化」の取組

ゴミの減量化については、「紙類のゴミを出さないようにする。」を重点事項としました。毎週水曜日と金曜日のゴミ収集では、ゴミの場所と重さをすべて計量して記録しています。ゴミが増えてきたときには、クラスや集会で呼びかけを行い、ゴミを減らす意識を高めました。少しずつですがプリントやノートなどの紙類のゴミが少なくなってきました。



## ゴミ量の推移



### (4) 学校外での取組

校外での活動として、甲佐町で年に2回、4月と9月に行われる「緑川一斉清掃」に参加をしています。部活動生や有志の生徒が集まり、校区を流れる緑川の河川敷のゴミ拾いや各地区から集められたゴミの分別作業を行います。自分たちの町を自分たちできれいにしていくことで、ゴミのポイ捨てや不法投棄に対する意識が高まります。



### (5) 地域との連携

今年度は地域とも連携した取組を行いました。「甲佐EMの会」からEM菌をいただき、プール掃除を行う一ヶ月前に散布しました。すると例年よりも汚れを落としやすくなり効率よくプール掃除を行うことができました。また、「甲佐EMの会」の方には、第1学年の環境学習に来ていただき、講話をしていただきました。

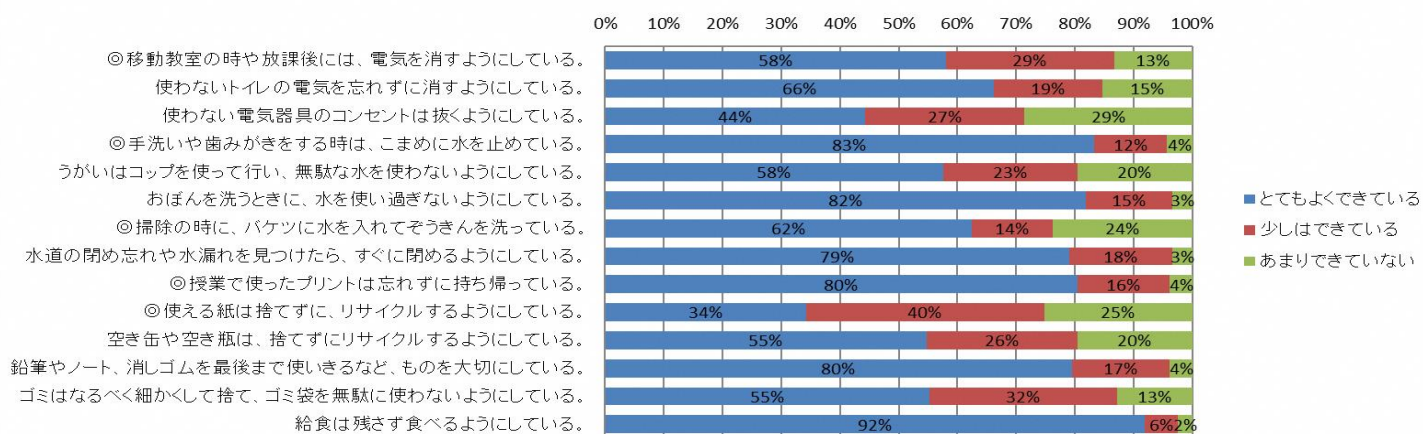
実際に自分たちの地域で活動している方の話を聞くことができ、環境問題への意識が高まりました。



## 3. 見直し(成果と課題)

12月に全校生徒に対し環境ISOについてのアンケートを行いました。全体的に肯定的な意見が多く、生徒の意識も高まってきていると言えます。

### 学校版環境ISOアンケート 生徒全体集計結果



## (1) 「節電」について

### 〈成果〉

- 「電気を消すよう意識している」と解答している生徒の割合が昨年度よりも高くなり、生徒の意識が高まっている。

### 〈課題〉

- 猛暑の影響もあり、電気使用料が昨年と比べ4%増加している。
- エアコンの使用頻度だけでなく設定温度も使用料との関連があるので、設定温度とエアコンの使い方を考える必要がある。

## (2) 「節水」について

### 〈成果〉

- 「掃除のときにバケツでぞうきんを洗う」と解答した生徒の割合が昨年より増加した。
- 「手洗いや歯みがきのときにこまめに水を止めている」と解答している生徒も9割を越え、水を大切にしようという意識は高まっている。

### 〈課題〉

- バケツの使用についてはよくできているという回答が増えるよう、引き続き呼びかけを行っていく。

## (3) 「ゴミの減量化」について

### 〈成果〉

- 全体として昨年よりもゴミの量を約20%減少させることができた。クラスや集会での呼びかけの効果があつた。
- プリントの持ち帰りについては昨年に続き高い割合での回答ができており、意識を高く持っている。

### 〈課題〉

- 教師が授業で配布するプリントの量について見直す必要がある。

## (4) 学校外での取組について

### 〈成果〉

- 活動後の生徒の感想から、参加生徒の環境への意識の高まりが見られる。

### 〈課題〉

- 有志での参加生徒が増えるよう、意識を高めるような取組を考えていく。

## (5) その他のアンケート項目について

### 〈成果〉

- すべての項目で、生徒の6割以上ができていると回答しており、取組の効果が現れてきていると言える。

### 〈課題〉

- 空き缶や空き瓶のリサイクルなど家庭での環境に対する意識に課題がある。学校での環境ISOの取組を、家庭での取組につなげていく必要がある。
- 電気や水道の使用料やゴミの量の推移を表したグラフなど、掲示物を充実させてさらに意識を高めていく。